



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 185

令和5年(2023)
5月2日

主
な
内
容

3月定例会予算の概要	2
常任委員会の審査報告	4
各会派討論の内容	7
議案の採決結果	10
代表質問	12
一般質問	14
議会学習会	20
6月定例会の予定	20

- 令和5年度一般会計予算を可決
- 令和4年度一般会計補正予算を可決
- 「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について」および「舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について」を採決の結果、賛成多数で「閉会中の継続審査」に付することを決定

議会だよりはこのコードから
ご覧いただけます。



／春のたより...／

(暮らしを支えるクレインブリッジ)



(田辺城址の咲き誇る桜)



(桜と野鳥)

令和5年度当初予算660億2810万円 未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴の再生 ～3つの基本施策～

令和5年 3月定例会 のあらまし

- 「骨格型」を基本としながらも、市制施行80周年を迎える中、「未来に希望がもてるまちづくり」へ向かうための令和5年度当初予算を可決
- コロナ禍における急激な原油価格・物価高騰対策として市内事業者に対する支援や防災・減災対策、西舞鶴駅西口駅前広場整備事業や交通安全推進事業などのまちづくり推進事業などを含む令和4年度補正予算を可決
- 第12号議案「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について」および第32号議案「舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について」を採決の結果、賛成多数で「閉会中の継続審査」に付することを決定

令和5年3月定例会は、2月27日から3月29日までの31日間開催されました。市長から提案された議案は、令和5年度予算9件、令和4年度補正予算4件、条例14件、その他5件の32議案、議会提案の「舞鶴市議会の個人情報の保護に関する条例制定」と合わせて33件を審議した結果、31件を原案のとおり可決・同意、残りの2件については閉会中の継続審査としました。

提案された主な施策など

1 次世代への積極的な投資

安心して出産・子育てができるよう「伴走型相談支援」の拡充を図るとともに、新たな「経済的支援」を一体的に実施する。

子育てに負担や不安を抱える親に対応するため、子育て支援サービス「まいココ」を活用し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備する。

子どもを取り巻くさまざまな課題の解消に向け、「子どもなんでも相談窓口」において、子育て支援基幹センター、保健センターと合わせ、3センターが切れ目のない子育て支援を実施し、子どもの権利・利益を擁護する。



中総会館に設置されている
子どもなんでも相談窓口

2 安全で安心できる社会の実現

松尾・杉山地区の避難路となっている市道「松尾杉山登尾線」、多門院地区の避難路となっている市道「溝尻多門院線」を改良し、住民の避難の円滑化を図る。

市民一人ひとりが必要とする防災情報をプッシュ型で通知できる防災アプリケーションを新たに導入し、情報伝達の機能強化を図り、市民の避難行動につなげる。

市街地の浸水対策事業として、西市街地においては、京都府の高野川整備計画と連携して事業を促進し、さらに東市街地において工事着手に向けた実施設計を行い、安全・安心なまちづくりを行う。



舞鶴教育隊で実施された
防災訓練の様子

3 魅力的なまちづくりの構築

地元就職・U・Iターン就職への機会となる合同就職説明会やインターンシップイベントを実施するとともに、市内事業所を対象としたセミナー、コンサルティングを実施することで採用力向上を支援し、市内事業所の人材確保を促進する。

長年培ってきたものづくり技術や、地域資源を活用したサービスなど、市内事業所が有する魅力や特徴を発信し、地域住民や子どもたちにとって、地域産業に対する理解促進やキャリア教育を推進する契機にする。

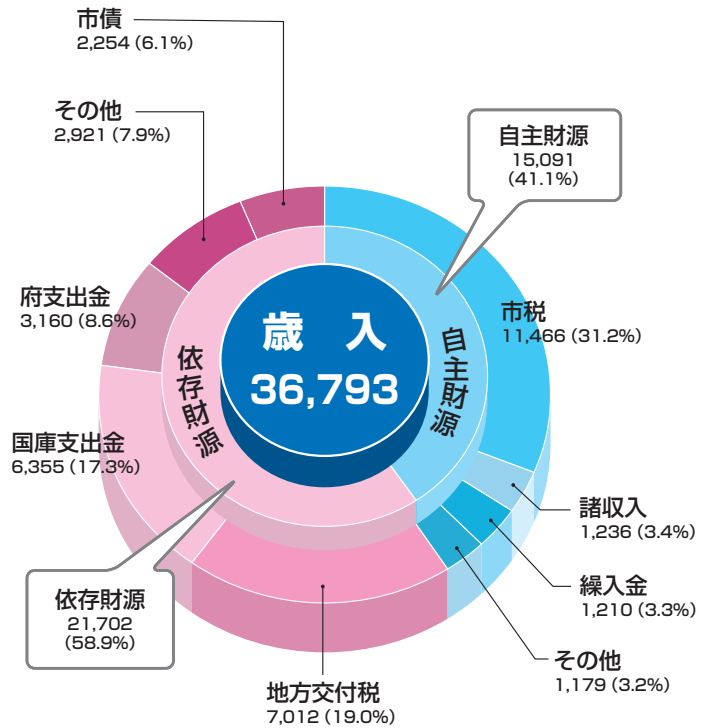
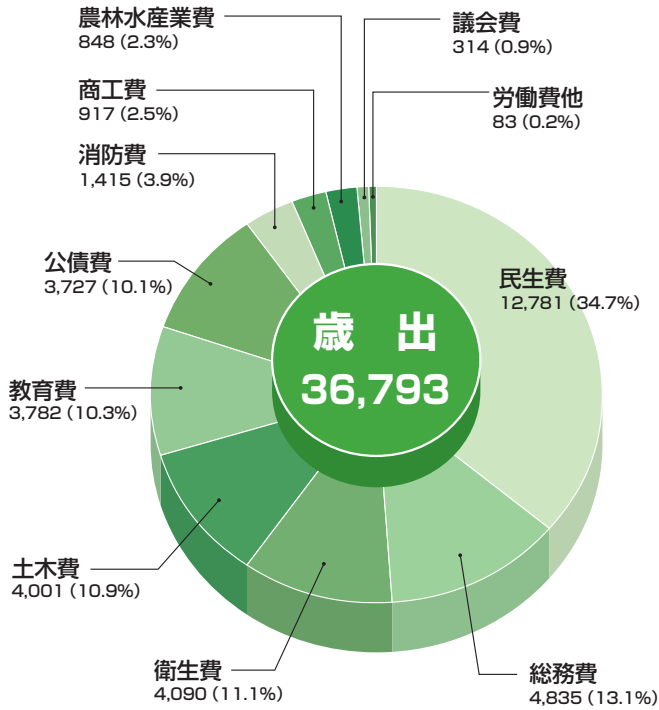
「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」について、エリアにおけるにぎわい創出の取り組みや、活動を通じた検証・課題の抽出等を進める中で、「みなと」を核とした活力あるまちづくりを推進する。



新たなにぎわいを呼ぶ
みなとオアシス

一般会計予算

単位：百万円



まちづくりに係る主な事業

●次世代への積極的な投資

(新規) 出産・子育て応援事業費	5863万円
(新規) 多様なデジタル人材育成事業費	370万円
(拡大) 放課後児童健全育成事業費	1億5151万円
(新規) 水素エネルギー等普及調査研究事業費	1900万円
(拡大) 不登校支援等推進経費	2426万円

●安全で安心できる社会の実現

(拡大) 緊急時避難難消化事業費	9000万円
(新規) 中総会館整備事業費	5億円
(新規) 公式防災アプリケーション導入事業費	2000万円
(新規) 地域医療環境充実事業費補助金	3813万円
(新規) 重層的支援体制整備事業費	2205万円

●魅力的なまちづくりの構築

(新規) 地元就職・UIJターン就職推進事業費	801万円
(拡大) 企業誘致実現プロジェクト事業費	8813万円
(新規) 農村地域防災減災事業費	2250万円
(新規) スマート農林水産業実装チャレンジ事業費補助金	886万円
(新規) まいづるの産品戦略的マーケティング事業費	811万円

特別会計予算

会計区分	5年度	4年度	伸び率
国民健康保険事業会計	71億1331万円	79億628万円	△10.0%
貯木事業会計	200万円	200万円	0.0%
駐車場事業会計	2437万円	4904万円	△50.3%
介護保険事業会計	92億4725万円	90億769万円	2.7%
保険事業勘定	92億4010万円	90億109万円	2.7%
介護サービス事業勘定	715万円	660万円	8.3%
後期高齢者医療事業会計	15億2933万円	14億7165万円	3.9%
公営企業会計	113億1837万円	117億3110万円	△3.5%
水道事業会計	34億9240万円	33億8780万円	3.1%
下水道事業会計	67億315万円	72億7265万円	△7.8%
病院事業会計	11億2282万円	10億7065万円	4.9%
合計	292億3463万円	301億6776万円	△3.1%

常任委員会の審査報告

本会議において付託された議案は、福祉健康委員会1件、市民文教委員会6件、産業建設委員会2件、総務消防委員会7件、予算決算委員会13件であり、それぞれの委員会で審査しました。

予算決算委員会の主な審査内容

令和4年度一般会計補正予算(第9号)

西駅交流センター施設整備事業
(繰越明許費補正)

事業の内容は

A 西駅交流センターに設置する高圧充電ケーブルの老朽化に伴い、既設ケーブルの撤去、取り換えを行うものであるが、昨今の社会情勢を反映し、納期が長期化していることから、繰越明許の設定を行うもの。

Q バス事業者に対する奨励金の額の算出方法は
A 令和4年度の年間走行距離と平均燃費か

公共交通燃料費高騰緊急対策支援奨励金



あらまし

予算の概要

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

議会学習会

定例会の予定

議会PR

ら使用した燃料を求め、高騰した燃料費の差額分を乗じることにより支援額を算出している。

「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業」及び「新型コロナウイルスワクチン接種事業」(繰越明許費補正)

Q 令和5年3月以降の接種体制は
A 令和5年度も特例臨時接種として令和6年3月31日まで継続する。重症者を減らすことを目的に、5月から8月にかけて65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方、重症化リスクの高い方が集まる場所です。

医療従事者や施設職員の9月から12月にかけては、重症化リスクの高い方を含む接種可能な全ての方を対象に接種機会を設けることとしている。

橋りよう長寿命化事業費

Q 現在の橋りよう修繕の状況は
A 5年に1回の頻度で定期点検を行っている。経年劣化の対策として、舞鶴市橋りよう長寿命化計画に基づき、点検結果から措置が必要な81橋に対して、順次計画的に修繕を行っている。

学校施設新型コロナウイルス感染症防止対策経費

Q CO₂モニターの1台当たりの価格および機器の管理運用方法等は
A 1台当たり1万円を見込んでおり、購入や管理運用については、全て学校の裁量で行うこととなっている。

給食費高騰緊急対策事業費

Q 事業の対象範囲は
A 給食費値上げに係る保護者負担を軽減するものであるため、値上げをされた園のみが対象となる。

給食費の値上げが実施された施設数は
A 私立保育所・私立認定こども園全15園中、11園と、私立幼稚園では、全9園のうち5園が値上げをされている。

事業の対象となった児童数は

Q 私立保育所・私立認定こども園で1050人、私立幼稚園では401人の合計1451人が影響を受け、その対象となった。

校舎等改修事業費(小学校)

Q 工事の対象や時期等は
A 築50年を超える倉梯小学校の南側と東側の校舎における長寿命化を図るため、令和5年の夏休みから令和6年の夏休みまでを工事予定期間としている。

令和5年度一般会計予算

固定資産税

Q 市税収入のうち、固定資産税が昨年よりも増加している理由は
A 土地分は減少を見込んでいたものの、家屋分は、新築家屋数の増加を見込んでおり、償却資産分は、大型事業所の設備更新などにより例年より減少幅が抑えられる見込みで、全体では増加と予想している。

Q ごみ処理手数料見直し後のごみの排出状況は
A 令和2年度は、1人1日当たりのごみ排出量が900.8gであったのに対し、見直し後の令和3年9月から令和4年8月までの1年間では、817.5gであったことから、大きく減量化ができています。

Q 加佐地域、大浦地域のそれぞれの予算内訳と上野家の今後の維持管理は
A 加佐地域活性化センターで、1341万8000円、大浦地域活性化センターでは、817万9000円を計上している。また、上野家の維持管理費については、1135万4000円を計上しており、人件費を除く、505万6000円が建物維持に必要な予算である。その主な内訳は、清掃費が67万5000円、光熱費が144万円などであり、今後とも、レストラン事業者と連携し、地域の拠点として運営をしていきたい。

共助による移動手段(memo)確立に向けたMOSS推進事業費

Q 今後検討していく有償運送は、どのようなイメージしているのか
A 白ナンバーで実施可能な自家用有償運送で、国の通知に基づいた運賃設定や、回数券のような仕組みを検討していきたいと考えている。

舞鶴市SDGs若者チャレンジ事業

Q 事業費のほとんどである950万円が業務委託費とのことであるが、どのような業務を委託するのか
A 地域の課題解決につながる取り組みの企画・運営を委託するもので、具体的には、学生などの若者を対象に、地域との信頼関係を深め、本市に関心を持ってもらう体験プログラムを実施する予定としている。

後とも、レストラン事業者と連携し、地域の拠点として運営をしていきたい。

本会議において付託された議案は、福祉健康委員会1件、市民文教委員会6件、産業建設委員会2件、総務消防委員会7件、予算決算委員会13件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

自治体システム 標準化事業費

Q 地方公共団体の情報システムの標準化を図るメリットは

A データのフォーマットが統一されることにより、データ連携が円滑になることや、法改正に伴うシステム改修の労力と財政的負担が軽減できることなどが挙げられる。

重層的支援体制整備 事業費

Q 包括化推進員と庁内包括マネージャーの役割分担は

A 社会福祉協議会に配置される包括化推進員3人は市内の各分野別の相談支援機関を巡回し、それぞれの支援機関が抱える複合・複雑化した課題を把握し、相談支援機関の間で横断的な連携・対応をコーディネートしていく。庁内包括マネージャーは、主に庁内の各担当課の横つなぎを行い、包括化推進員と両輪となって官民の連携した支援体制を構築していく。

地域医療の人材確保に 向けた取り組み

Q 舞鶴地域麻酔診療支援センターの現状は

A 令和3年度から協議を行っており、令和4年度に京都府立医科大学麻酔科教授がセンター長に就任。また、麻酔診療支援センター医師として3人の麻酔科医師に委嘱状を交付したが、3病院間で派遣に関する調整が必要であること、3人中2人は研修中の専攻医であり派遣の要件があることなどから、実際の派遣までにはつながっていない。体制は整っているため、今後派遣に向けて調整していく。

地域医療環境充実 事業費補助金

Q 人工関節手術の実績は

A 舞鶴赤十字病院における令和3年度の実績は約120例。今回導入されるロボットは膝と股関節の両方に対応するものであり、導入により、年間約20例程度増加する見込みである。

基盤整備促進事業費

Q 各地区の圃場整備の進捗状況は

A 朝来中地区は、おむね半分の工事が終了し、令和5年度末に一部供用開始予定である。泉源寺地区は、令和5年度に換地の事務と実施設計を行う予定である。女布地区は、文化財の調査と実施設計を行う予定である。蒲江・油江地区は現地調査を実施中で、令和5年度は換地等の調整業務を発注する予定である。

地域資源を活かした エリアブランディング 事業費

Q ビーチクリナーの配置先と運用方法は

A 市内の3つの海水浴場で有益に活用できるように、地元関係者の意見を聞きながら、より良いものを導入し、利用頻度を考えながら、地元同士で協議の上、一時的に移動させるなどの運用をした。

引揚の史実継承事業費

Q 現在、引揚記念館の休館日は月に1日だが、4月から週に1日となるのか

A これまでは、毎月第3木曜日を休館日としていたが、収蔵資料保存のための湿度、温度管理や施設の各種機器類のメンテナンスを充実、展示のレイアウト変更のために、4月から毎週水曜日を休館日とする。

まちづくり推進事業費

Q 西舞鶴駅西口の駅前広場整備工事の具体的な内容は。また、いつごろ完成するのか

A バス停を駅舎前に移転し、乗降場所にシェルターを設置して安全確保のための駅前広場の整備を行う。時期は未確定であるが、できるだけ早期の完成を目指したい。

防災行政無線改修事業費

Q 複数メディア連携機能の追加に2350万円という高額の予算が見込まれているのはなぜか

A 1回の操作で、防災行政無線、メール配信サービス、LINE等へ情報が送れるようにする機能を追加するもので、そのための委託費として、この額を見込んでいます。

令和5年度水道事業 会計予算

浄水施設整備事業費

Q 由良川取水施設基本計画の策定に際し、取水場の取水口の位置の移動について、どう考えているのか

A 今年度は、取水口の上方移動による影響について検討している。令和5年度は、必要な取水量や現在の取水場の利用方法、送水方法を検討した上で、上流移動の適否を調査したい。

令和5年度介護保険 事業会計予算

地域支援事業費

Q 介護予防・生活支援サービス事業について、新たな事業内容は

A 入院していた高齢者が退院後に入院前の

状態まで回復することができず在宅での自立生活が難しくなるケースや、ヘルパーやデイサービスを一度利用すると、なかなか卒業することができないケース等があることから、新たな住宅訪問型支援事業として、リハビリテーション専門職等が高齢者の自宅を訪問し、短期集中の支援を実施する。主な内容としては、生活動作の改善や工夫に関する指導・助言を行う運動機能向上プログラムと、管理栄養士が低栄養状態の予防改善や自立に向けた食事・栄養指導を行う栄養改善プログラムとなっている。



本会議において付託された議案は、福祉健康委員会1件、市民文教委員会6件、産業建設委員会2件、総務消防委員会7件、予算決算委員会13件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

常任委員会の主な審査内容

福祉健康委員会

舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定

国の見直しに準じて、本市条例を改正するもの。保険料賦課限度額の改正は、年間の保険料の限度額について、後期高齢者支援金等分を20万円から22万円に引き上げる。賦課限度額を引き上げることにより、上位所得者層は保険料の負担が増えるが中間所得者層の負担が軽減される。保険料の軽減に係る所得判定基準の変更は、5割および2割の軽減において、被保険者の数に乗じる金額を現行の額からそれぞれ引き上げる。この見直しにより、保険料負担が緩和される世帯が増加する。出産育児一時金の見直しは、出産に係る平均的な費用が増加していること

を踏まえ、出産育児一時金を現行の42万円から50万円とするもの。本条例の施行期日はいづれも令和5年4月1日としており、令和5年度分の保険料、令和5年4月1日以後の出産に係る出産育児一時金から適用される。

産業建設委員会

舞鶴市農業公園条例の一部を改正する条例制定

農業公園の利用促進を図るため、滞在型市民農園の全てをコテージとし、利用料金の基準額を改める等所要の改正を行うもの。
Q 当施設は、これまでに、地域にどのような貢献をしてきたのか
A マーケットで地域の野菜や魚などを販売しており、雇用に関しても、いろいろな場面で地域の方に参加いただいている。

市民文教委員会

舞鶴市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

関係府令の改正に伴い、特定教育・保育施設および特定地域型保育事業所の管理者の懲戒に係る権限の濫用禁止の規定を削除する等所要の改正を行うもの。

総務消防委員会

市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定

市長の給料月額を、条例で定める額に100分の30を乗じて得た額を減じた額にするとともに、退職手当を支給しないこととするもの。

Q コテージでの4時間以上の休憩は、何時まで可能なのか
A 宿泊を伴わない休憩の場合は6時間程度と考えている。

Q 減額後の給料月額はいくらになるのか
A 94万9千円から100分の30を減じて66万4300円となる。
Q 議案を提出する前に、舞鶴市特別職報酬等審議会に諮問しなければならぬのではな

いか
A この条例は、給料月額そのものを減らすものではなく、現在の市長にのみ適用される暫定的な措置であることから、必ずしも審議会の意見を聴かなければならないというものではないと考えている。
※採決の結果、賛成多数で「継続審査」とすることを決定。



FMまいづるに出演しています

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなこととお話しています。



過去の放送内容もお聴きいただけます。



今後の放送予定

5月26日(金)

※放送日時や放送内容等については、決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

これまでの主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」「本会議や委員会の傍聴について」
- 「FMまいづるとの意見交換会の報告」
- 「審議の見える化を図る取り組み」
- 「市民と議会のわがまちトーク」
- 「防災訓練」「第20期の総括」
- 「議長就任挨拶」「議会改革の取り組み」

など

今回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



令和5年3月29日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。
第12号議案「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について」および
第32号議案「舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について」の
2議案に係る委員会継続審査の申出に対して討論をしました。

討論

討論
市民のいのちと健康
暮らしを優先すべき

日本共産党議員団

26議案に賛成し4議案に反対する。

「令和5年度一般会計予算」は、以下の4点で反対する。その理由の第一は、大型開発と観光優先で「山陰新幹線誘致事業」など無駄と思える予算があること。また、「赤れんがパーク」整備事業については、現在、イージス艦へのトマホーク搭載、自衛隊総監部の地下化などの計画がある。それを考えると、安全性の面で事業そのものの土台が揺らぐことになると指摘し、まちづくりの観点からも、国の危険な動きに対し、市民の安心・安

全を守る立場で意見表明されるよう求める。第二に、「自治体システム」の標準化によって、市民生活の安心と安全が揺らぐ予算になっていること。第三に、自治体リストラによる職員のさらなる減少で、市民サービスの低下につながる心配があること。第四に、夢チャレンジテストの実施予算があることから反対する。

また、「令和5年度国民健康保険事業会計予算」や、「令和5年度介護保険事業会計予算」、「令和5年度後期高齢者医療事業会計予算」は、それぞれの事業で、さらなる市民への負担増が今後も予想されることから反対する。

「市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定」や、「教育長の給料の特例に関する条例制定」を継続審査にすることに反対する。その理由の第一は、議案は条例違反でなく、議案として成立している。第二に、現行の市長給与「月額94万9千円」を変更するものでなく、この点でも条例違反とはいえない。第三に、令和5年2月の市長選挙で「市長給与3割カット。退職金の返上、その分を子育て財源へ」との公約が多

くの市民の共感を得て、市長の交代となった。市民から圧倒的な賛同を得られたことから、速やかに審議し、採択すべきであることから、継続審査に反対する。

「令和5年度一般会計予算は、市長が交代したことにより、政策予算においては、今後に先送りした「骨格型の予算編成」になっていると理解している。結果、前年度からの継続的な事業予算ではありながらも、新規事業が32事業、拡大事業が25事業となっている。歳入において、市税は微増であり、主に新型コロナウイルス感染症対策などの国庫支出金が減額ながらも、地方交付税、ふるさと応援寄附金などの増額により、財源確保に尽力いただいたものと評価す



市民に寄り添う市政運営を

討論
市民福祉の向上と
財政健全化を求め賛成

公明党議員団

全議案に賛成する。

令和5年度一般会計

「令和5年度一般会計予算は、市長が交代したことにより、政策予算においては、今後に先送りした「骨格型の予算編成」になっていると理解している。結果、前年度からの継続的な事業予算ではありながらも、新規事業が32事業、拡大事業が25事業となっている。歳入において、市税は微増であり、主に新型コロナウイルス感染症対策などの国庫支出金が減額ながらも、地方交付税、ふるさと応援寄附金などの増額により、財源確保に尽力いただいたものと評価す

る。一般会計は、前年度比2.3%増の367億9347万円となっている。今後は大型事業の終結により、財政規模が縮小していくことのないよう、必要な新規事業、予算確保に向けての取り組みが課題になると思われるところだが、一層徹底した行財政改革に取り組むとともに、公正・公平で安全・安心な市民福祉の向上と財政の健全化に努めていただくことを求め、賛成する。

舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定については、市長選挙戦において、公約された「給料30%減額、退職手当の支給なし」とする市長個人の報酬減額に反対するものではない。だが、「市長は、特別職報酬等の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ、当該特別職報酬等の額について審議会の意見を聴くものとする」と条例に基づく手続で、進めていただくことが義務規定となっている。過去、報酬審議会の答申において、自主的減額措置についても、慎重に取り扱うよう求められている。審議会の意見も聴か

ず、特例で変更が行われるのであれば、答申の意義や労力が軽んじられることとなる。したがって、報酬審議会の意見を聴き、結論を出すことが望ましく、継続審査とすることが適当である。

財政を考える



財政健全化を目指す

じめ、当該特別職報酬等の額について審議会の意見を聴くものとする」と条例に基づく手続で、進めていただくことが義務規定となっている。過去、報酬審議会の答申において、自主的減額措置についても、慎重に取り扱うよう求められている。審議会の意見も聴かず、特例で変更が行われるのであれば、答申の意義や労力が軽んじられることとなる。したがって、報酬審議会の意見を聴き、結論を出すことが望ましく、継続審査とすることが適当である。

令和5年3月29日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。
第12号議案「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について」および
第32号議案「舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について」の
2議案に係る委員会継続審査の申出に対して討論をしました。

討論 第12号、第32号議案の 継続審査に反対

市民クラブ舞鶴議員団

全議案に賛成する。

市長が交代されたことによる経常的・継続的事業を中心とした「骨格型」の予算編成であり、6月の補正予算で政策的な事業などを計上予定と聞いている。施策の柱は、「次世代への積極的な投資」「安全で安心できる社会の実現」「魅力的なまちづくりの構築」「身を切る行財政改革の遂行」の4つであり、「骨格型」を基本とし「未来に希望もてるまちづくり」に必要な経費が計上されている。主な事務事業は、市制80周年記念行事、緊急時避難円滑化事

業、移住定住対策、子育て応援事業、不登校支援等推進経費、重層的支援体制整備事業、引揚の史実の継承関連事業などであり、骨格予算においても、市民生活に密着した重要な事項や安全対策など早急な対策が求められる事業に取り組むため、一般会計予算は前年度比約8・4億円の増となっていることから賛成する。

継続審査に反対する。

「市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定」や「教育長の給料の特例に関する条例制定」を継続審査とすることに反対する。その理由は、一般質問において、他党派から発言があった「条例違反である」という点は、執行機関の答弁で違反でない主旨であったこと。国の通知や全国の事例からも、今回提出された第12号議案と第32号議案が条

例違反ではないことを確認したこと。「自分の給料を削ってでも、子どもや必要とされるところに財源を回したい」と公約に掲げ当選したことから、市民との約束を守るため、自分自身の自主的な減額措置を講じる条例制定案であると認識する。報酬等審議会を開催せず、報酬を減額した事例が過去に2例あり、審議会は報酬等の額を審議する場であり、自身の任期のみの減額を行うため、条例策定の良し悪しを聴く場ではないことから反対する。

第12号議案
舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について
舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例を次のように制定するものとする。
令和5年2月27日提出
舞鶴市長 鴨田秋津
舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例
(趣旨)
第1条 この条例は、市長の給料及び退職手当の特例について定めるものとする。
(給料の特例)
第2条 この条例の施行の日現在に在職する市長の同日から令和9年2月17日までの間における給料月額、舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例(昭和40年条例第24号)第3条第1号の規定にかかわらず、同号に定める給料月額からその額に100分の30を乗じて得た額を減じた額とする。
(退職手当の特例)

舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定案の一部抜粋

討論 事業を拡充・継続する 前向き予算を評価

自民党鶴政クラブ議員団

全議案に賛成する。

令和5年度舞鶴市一般会計予算は、保育・教育の充実の予算として、乳幼児教育の充実・強化事業、不登校支援等推進費、校舎等改修事業費、放課後児童健全育成事業費など。持続可能なまちづくりの実現に向けた予算として、舞鶴市SDGs未来都市推進事業費、防災・減災対策の強化費、治水対策費、消防体制の強化費など。安全で安心できる社会の実現予算として、中総合会館整備事業費や防災行政無線改修事業費、東西市街地の浸水対策、救急・救

助体制充実事業費などの拡充予算が計上されており、「未来に希望もてるまちづくり」へ向かう予算として、「骨格型」となっている。早急な対応が求められる事業、国府補助事業関連費は政策的、新規事業についても盛り込まれている予算であり、前年度比2・3%、8億4188万円の増の367億9347万円の予算となっている。一般会計予算は、今まで取り組んできた市民生活に密着した重要な事項や、安全対策などの事業をさらに拡充・継続して事業を前向きに進めていくこととする予算と理解する。これまで国や京都府、国会議員のもとへ頻繁に陳情に連れられ、獲得されてきた国庫支出金や府支出金などが、今後、減少しないよう事業の進捗に取り組み、今後もしっかりと今日までの支援や協力

が、引き続き得られるように取り組んでいただけの事を期待し、賛成する。

総務消防委員会において、第12号議案舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について、慎重に審査され、採決の結果、賛成多数で舞鶴市特別職報酬等審議会条例第2条の規定により、舞鶴市特別職報酬等審議会に諮問するたし出について、賛成する。



災害に備えて整備が進むポンプ場

令和5年3月29日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。
第12号議案「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について」および
第32号議案「舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について」の
2議案に係る委員会継続審査の申出に対して討論をしました。

討論

舞鶴市議会の情報発信 ~YouTube と Facebook~

討論

当初予算はこれまでの
成果が実った予算

新政クラブ議員団

全議案に賛成する。

一般会計予算は骨格予算とされたが、昨年度の予算から8億4188万円の増額であり、多々見前市長が令和5年度当初予算として計上されるべき予算として計上された。「心豊かに暮らせる便利な田舎ぐらし」の考え方にのっとり、これまで行政と議会はまちづくりを進めてきた。その足跡が具現化された予算案は賛成である。歳入については、令和5年度予算額367億9347万円のうち、市税収入は14億6630万円であって、市民の皆さま

から預かる市民税だけでは市政の運営は難しい。従って、国や府から予算措置をいただくことが極めて重要である。財源構成は、地方交付税が70億1200万円、国庫支出金が63億5541万6千円、防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金が6億6549万2千円、府支出金は31億5973万5千円が見込まれている。この財源は一朝一夕で確保できるものではなく、府や国・政府、関係国会議員、市議会と連携して、まちづくりを継続的に行ってきたことで財源確保につながった。歳出では、赤れんが整備事業費が計上された。1日も早く整備されることを期待する。

令和4年度補正予算は、令和5年度予算と合わせて暮らしを支える補正予算となった。引土境谷線の市道整備や西舞鶴駅西口駅前広

場整備事業などが着工され、まちの魅力向上に寄与するものである。いずれにしても、国の追加補正は、国や府と確かなパイプがあつて実現できることである。

継続審査に賛成する。

市長給料3割カットの継続審査申出に賛成する。特別職報酬等審議会の条例には、報酬の額に関する条例を議会に提出するときは、審議会の意見を聴くものとなつているため、条例の要求に添えていない。正しい手続で提案される方が説明責任も果たされることから、継続審査に賛成する。

○舞鶴市特別職報酬等審議会条例
昭和40年3月29日
条例第17号
(設置)
第1条 議会の議員の議員報酬並びに市長、副市長及び教育長の給料(以下「特別職報酬等」という。)の額について審議するため、舞鶴市特別職報酬等審議会(以下「審議会」という。)を置く。
(平29条例6・一部改正)
(所掌事項等)
第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、特別職報酬等の額について審議する。
2 市長は、特別職報酬等の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ、当該特別職報酬等の額について審議会の意見を聴くものとする。
舞鶴市特別職報酬等審議会条例の一部抜粋

舞鶴市議会の情報発信 ~ YouTube と Facebook ~

舞鶴市議会 公式YouTubeチャンネル

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。



チャンネル登録をよろしくお願いします。



舞鶴市議会 公式Facebook

「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関する様々な情報を随時発信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録や「いいね」もお願いします。

舞鶴市議会
YouTube



舞鶴市議会
Facebook



舞鶴市議会
ホームページ



令和5年3月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市における個人情報の保護に関する法律の施行に関する条例制定について
- デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- 舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 総合計画審議会条例の一部を改正する条例制定について
- 農業公園条例の一部を改正する条例制定について
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 子ども・若者支援会議条例の一部を改正する条例制定について
- 認定こども園条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で同意した人事議案

- 教育長の任命について
- 教育委員会委員の任命について
- 固定資産評価員の選任について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

川口孝文	肝付隆治	谷川眞司	水嶋一明	南正弘	今西克己	田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	眞下弘明	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	西村正之	廣瀬昇	福本明日香	高橋秀策	仲井玲子	議決をした日
鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	市民	市民	市民	無党派	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	3月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	3月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	3月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	3月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	3月29日

無党派…会派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は25人です。

教育委員会委員の任命

令和5年3月29日の本会議で
次の教育委員会委員を任命することに同意しました。

新任：稗田洋子氏

固定資産評価員の選任

令和5年3月29日の本会議で
次の固定資産評価員を選任することに同意しました。

新任：杉本和浩氏

議案の採決結果

(令和5年3月定例会) 会期:2月27日~3月29日

全会一致で可決した予算議案

- 令和5年度水道事業会計予算
- 令和5年度下水道事業会計予算
- 令和5年度病院事業会計予算
- 令和5年度貯木事業会計予算
- 令和5年度駐車場事業会計予算
- 令和4年度一般会計補正予算(第9号)
- 令和4年度下水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和4年度国民健康保険事業会計補正予算(第2号)
- 令和4年度一般会計補正予算(第10号)



全会一致で可決したその他の議案

- 辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について
- 市道路線の認定及び変更について

全会一致で可決した議会提出議案

- 舞鶴市議会の個人情報の保護に関する条例制定について

賛否が分かれた議案

議案名	議員名等(会派内は五十音順)					議決結果	上野修身	尾関善之	
	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権		鶴政	鶴政	
市長提出議案	令和5年度一般会計予算	25	24	21	3	0	可	○	○
	令和5年度国民健康保険事業会計予算	25	24	21	3	0	可	○	○
	令和5年度介護保険事業会計予算	25	24	21	3	0	可	○	○
	令和5年度後期高齢者医療事業会計予算	25	24	21	3	0	可	○	○
継続審査	第12号議案に係る委員会継続審査の申出について (舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について)	25	24	18	6	0	可	○	○
	第32号議案に係る委員会継続審査の申出について (舞鶴市教育長の給料の特例に関する条例制定について)	25	24	18	6	0	可	○	○

【会派】 鶴政…自民党鶴政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団



教育長の任命

令和5年3月29日の本会議で
次の教育長を任命することに同意しました。

新任：廣瀬直樹氏

令和5年3月9日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

令和5年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

令和5年3月9日

順番	質問方式	会派名及び氏名	質問事項	
1	一括	市民クラブ舞鶴議員団 西村 正之	1 人口減少問題の取組について 3 公約実現について	2 海を活かした観光のPRについて 4 ゼロベースでの事業見直しについて
2	一問一答	自民党鶴政クラブ議員団 尾関 善之	1 多々見前市長の評価について 3 選挙公約について	2 鴨田市長の市政の取組について 4 赤れんがパーク整備事業について
3	一問一答	新政クラブ議員団 今西 克己	1 多々見前舞鶴市長の評価と実績について 3 関係機関との連携について	2 市長選挙で掲げた公約と考え方、具体的な施策について
4	3分割	日本共産党議員団 小西 洋一	1 「平和産業港湾都市」に基づくまちづくりについて 3 鴨田市長の選挙公約と本市の2023年度予算について	2 原子力発電に対する態度について
5	一括	公明党議員団 松田 弘幸	1 市長の所信表明について	

- ※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
- ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式
- ※3 分 割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
- ※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページに掲載しています。

また、本会議の様子は、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページからご覧ください。

舞鶴市議会 検索



生まれ育った若者の定着を図る

答 弁 舞鶴で

見解を問う。
か、市としての
う捉えているの
ように考え、ど
この違いをどの
幅な減少ペース
20人という小
和5年度には7万5
48人となり、年
25年度の人口は8万1
145人。10年後の令
統計書によると、平成
近隣の福知山市では、
うペースである。一方、
1000人の減少とい
なる。これは、1年に
92人が減少したこと
万7818人から1万
前の平成25年2月の8
7万7726人。10年
令和5年2月の推計で



「子は三界の宝」
子どもたちの縄跳び

こと、また、一旦、舞鶴を離れても戻ってきたいと思える環境を整えることが人口減少の改善、さらには、まちの活性化につながるものと考えており、「次世代への積極的な投資」や「魅力的なまちづくりの構築」といった施策の柱を一つ一つ実現し、「未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴の再生」を目指していく考えである。

いるところであり、

答 弁 給食費の

無償化に係る所要額については、約3億円と試算しているところであり、



段階的に進められる給食費の無償化

当初予算案の記者会見で、公約に掲げていた給食費の無償化は、「財源の問題もあり、検討を進め、状況が厳しければ、小学校、中学校と段階的に進めたい。できれば、今年やりたいとの思いがある」と強い意志を示したと、報道されている。市民の皆さまは、公約を見ている限り、すぐに実施されるものと理解されていたと思うが、後退したとも言える、この発言の真意について、市長の見解を問う。

本市の財政状況や規模から考えても、これら財源を恒久的に確保していくには、さまざまな課題があるものと認識をしている。このため、今ある業務をゼロベースで見直し、市民との対話集会などを通して、真に必要な施策を把握し、行財政改革を遂行することで、次世代の投資に充てる財源を確保してまいりたいと考えている。

Q 人口減少問題の取り組みは
A 未来に希望が持てる舞鶴の再生を目指す



市民クラブ舞鶴議員団
西村 正之

Q 公約に掲げた学校給食費の無償化は
A 財源を恒久的に確保するには課題がある



自民党鶴政クラブ議員団
尾関 善之

令和5年3月9日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

代表質問

Q 市長報酬カットと
条例との整合性を問う

A 私の任期中に私のみ
適用するものである



新政クラブ議員団
今西 克己

質問 3月定例会に

「舞鶴市長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定」が提出された。本市には、「舞鶴市特別職報酬等審議会条例」が定められており、市長、副市長、教育長その他特別職の報酬は、舞鶴市特別職報酬等審議会の答申に基づき決定されている。条例を議会に提出する時は、その額について「報酬等審議会の意見を聴くものとする」と定められているが、市長は、特別職報酬等審議会条例との整合性について、どのように整理しているのか問う。

的な立場から慎重に審議される中で、議会にもお諮りして決定されているところである。給料月額の設定を行う場合は、あらかじめ審議会に諮問し、答申をいただくことは承知しているが、今回の給料カットについては、審議会の答申に基づく給料月額を変えるものではなく、私の任期中に私のみ適用させるものである。

4.自主的な減額措置

特別職報酬等の額（答申額）については、本審議会において、その職責を踏まえ、他の地方公共団体の特別職報酬等の額との均衡、一般職の職員の給料改定の状況、社会経済情勢を考慮して、公平、中立的な立場から、慎重に審議したものである。

財政状況等から行われてきた市長、副市長の給料の自主的な減額措置については、その姿勢は理解できるものの、本審議会の答申を踏まえ、今後は、慎重に取り扱われたい。

平成29年の特別職報酬等審議会の答申の一部抜粋

代表質問

Q 総監部の地下化等
中止を要望すべきでは
耐震強度不足等により
建て替えが必要

A 耐震強度不足等により
建て替えが必要



日本共産党議員団
小西 洋一

質問 政府は、舞鶴

の海上自衛隊にトマホークミサイルを配備し、総監部の地下化を進めている。舞鶴をウクライナのような戦場にするのか。7万8千人の市民の命を守る立場から、国に対して計画の中止を強く要望すべき。市長の見解を問う。

答弁 国の安全保障

については、推測で答弁すべきではないと考える。地方総監部の庁舎は、昭和初期に建てられたもので、建物の耐震強度不足等により

建て替えが必要との旨、防衛省から伺っている。

Q 高浜原発の
再稼働は追認か

A 再稼働は避けられ
ない状況

質問 前市長は、府

下首長でただ一人老朽原発の再稼働を容認した。市民の命に関わる高度な政治判断が求められる問題であるが、高浜原発1・2号機の再稼働を追認するのか、市長の見解を問う。

答弁 災害時の現実

的な避難計画の策定や避難路整備ができてない現状では、再稼働は時期尚早と考える。ただし、足元の電力需給の逼迫状況を考えると、原発の再稼働は避けられないだろうという認識である。

代表質問

Q 安心した地域医療の
確保とは

A 医療体制や医師確保など
対策を講じる



公明党議員団
松田 弘幸

質問 「安心した地

域医療の確保には根本的な対策が必要」とは、どのような対策であり、どの地域医療の課題か。「地域医療の課題」とは、どういった課題か。これまでから京都府立医科大学には、ご支援をいただいているが、さらに強い支援を要望されるのか見解を問う。

答弁 産婦人科医や

小児科医、内科医や救急に携わる医師が不足しており、医師が充足していない状況が課題である。医療体制や医師確保には、必要な対策を講じる。京都府立

医科大学には、医師配置等のご支援をいただ

いており、今後も持続可能な地域医療の確保に向けて要望を行う。

Q 対話集会の開催と
頻度は

A 内容や実施方法を
検討

質問 「幅広い世代

の市民との対話集会を定期的に開くなど、皆さまのご意見を伺い、施策等へ反映していく」と表明をされているが、どのような対話集会を、どのような頻度で開催する考えなのかを問う。

答弁 市民との対話

集会は、今後、内容や実施方法について検討していく。一人でも多くの意見を伺い施策等へ反映してまいりたい。



平和で「安全・安心」の
まちづくりを



幅広い世代の対話集会

令和5年3月10日、13日に本会議を開き、15人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

令和5年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

令和5年3月10日、13日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一問一答	伊田 悦子	1 子どもの医療費助成制度を拡充することについて	2 「生理の貧困」問題について
			3 パートナーシップ制度を創設し「ジェンダー平等」のまちづくりを進めることについて	4 新たな図書館建設について
			5 高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて	
2	一括	福本明日香	1 新型コロナウイルス感染症における本市の現状と支援策について	
3	一括	杉島 久敏	1 デフリンピック支援と共生社会の推進について	2 带状疱疹ワクチン接種について
4	一問一答	眞下 隆史	1 市内中小企業への公的支援の効率化と、市内企業のさらなる応援体制の構築について	2 引揚記念館事業の市への貢献度と事業の継承について
			3 高浜発電所等に関する市の立ち位置の確認について	
5	一問一答	南 正弘	1 小中一貫教育について	
6	一括	仲井 玲子	1 本市の子育て支援について	2 新中央図書館建設について
7	一問一答	小杉 悦子	1 新型コロナウイルス感染症から、市民の命を守る市の姿勢について	2 舞鶴市国民健康保険事業について
			3 障害者福祉の充実について	
8	一括	廣瀬 昇	1 舞鶴市における医療の在り方について	2 救急医療の現状について
9	一括	小谷 繁雄	1 若者の定住促進について	2 副業人材活用の取組について
10	一問一答	野瀬 貴則	1 小中学校の施設整備について	2 前立腺がん検診について
11	一括	水嶋 一明	1 スポーツ施設の利用について	2 スポーツ施設の利用促進に係る取組について
12	一括	高橋 秀策	1 中高年のひきこもりについて	2 民生委員・児童委員について
			3 市道の除雪について	
13	一括	眞下 弘明	1 北朝鮮による日本人拉致問題について	2 舞鶴市の公共交通機関について
14	一問一答	山本治兵衛	1 議会の防災訓練から見てきた安全・安心な庁舎づくりについて	2 市長の所信について
			3 報道にあった市長のコメントについて	4 赤れんがパーク構想に対する市長の考え方について
15	一問一答	田畑 篤子	1 次世代への積極的な投資としての「子育て環境の充実」について	2 安全で安心できる社会の実現について

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

舞鶴市議会

検索



※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページをご覧ください。

※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

令和5年3月10日、13日に本会議を開き、15人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

一般質問

Q 子どもの医療費助成
早急に拡充決断を

A 可能な限り早急に
実現できるように調整



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 子どもの医療費助成制度の拡充を求め20数年が経過した。京都府は、秋ごろに通院時の自己負担額として、一医療機関で月200円となる対象年齢を2歳までから、小学6年生までに拡充する。本市も通院時の自己負担額を中学生上限1500円から、中学校卒業まで通院、入院とも200円とすべきでは

答弁 拡充に当たっては、持続可能な制度とするために必要な財源や対象とすべき範囲



拡充が望まれる子どもの医療費助成

等を幅広く検討する。また、医療機関等に理解・協力が得られるよう調整を図り、可能な限り早急に実現できるように準備を進めていく。

Q パートナリシップ
制度導入

A 制度導入に向け
検討

質問 パートナリシップ制度導入自治体が

増えている。それは、「誰もが自分らしく生き、誰一人取り残さない」と生きづらさを抱える人に寄りそう自治体の姿勢がある。本市も制度創設すべきでは

答弁 性の多様性への理解を深めるものと認識する。今後、人権が尊重されるまちづくりを目指し、制度の導入に向け検討していく。

一般質問

Q コロナ禍、障害のある方への配食支援は

A 今回の経験を踏まえ
必要な支援に努める



市民クラブ舞鶴議員団
福本明日香

質問 コロナ禍において、障害のある方は、常に不安と課題が多く、重症化リスクも高い。感染拡大時、一人暮らしの障害のある方は、配食支援が必要であった。今後、さまざまな感染症対策に、配食支援を行うことについて、市の見解を問う。

答弁 今後、障害のある方に対する感染症対策は、今回のコロナ禍で得られた経験を踏まえ、京都府をはじめ、事業所と連携を密にし、状況を把握する中で、必要な支援に努める。

Q 後遺症専門外来の設置は

A 設置の考えはない

質問 新型コロナウイルスの後遺症患者は、本市に



体調不良が続く新型コロナ後遺症患者

も一定の方がいると考えるが、専門外来の設置の考えは。また、5月に感染症法上の分類を引き上げる決定について、市の見解と今後の対応について問う。

答弁 現時点で後遺症専門外来設置の考えはない。分類引き下げ後、ワクチン接種は1年間無料で実施するが、通常の保険診療に切り替わる医療費は、高額となる自己負担の対応が検討されるなど、適正な診療体制が確保されるものと認識する。

一般質問

Q デフリンピック応援
事業への参加を問う

A 情報が示されておらず
現時点では未定



公明党議員団
杉島久敏

質問 東京2025デフリンピック開催が正式に決定した。4年に一度、世界的規模で行われる聴覚障がい者のためのスポーツ競技大会である。認知度は低いですが、日本で開催されることを機に、共生社会をつくり上げていく気運醸成に寄与してまいりたいと考える。本市には、2020東京オリンピックの際にホストタウンとして、ウズベキスタンの柔道・レスリング選手団を迎えた経験がある。そうしたことからデフリンピック応援団事業への参加の考えを問う。

答弁 2025年デフリンピック夏季大会の機会も含め、共生社会への理解・関心が一層高まるよう取り組ん

でまいりたい。応援事業への参加については、国や京都府などから情報が示されていないことから、現時点では未定である。いずれにしても、市としては、今後とも関係機関・団体、地域等との連携のもと、障がいの有無に関わらず、豊かな生活を送ることができるよう、取り組んでいく。



日本で開催予定の2025年デフリンピック

一般質問

令和5年3月10日、13日に本会議を開き、15人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

あらまし

予算の概要

委員会議

討論

採決結果

代表質問

一般質問

議会学習会

定例会の予定

議会PR

Q (仮称)産業振興センターの開設を求め、必要性は感じるが今後十分協議する

A 必要性は感じるが今後十分協議する



質問 まだ世間はコロナ禍に加え、原油価格高騰・物価高騰により市内企業の運営は厳しい。今後も効率的な支援・応援体制構築の必要性がある。令和4年12月定例会で議案説明のあった(仮称)産業振興センターの開設に期待をしているが、取り組みを継続していただけるのか。

をはじめ、関係機関との議論や地元事業所のニーズも踏まえながら、十分協議を重ねる。

Q ふるさと納税の活用は

A バランスよく適切に充当

質問 引揚記念館事業は舞鶴市に大変貢献しているため、事業拡大を求める。予算として「ふるさと納税」を活用しているが、使用用途と比較し実績がバランスを崩している。今後の活用定義とは。

答弁 「ふるさと納税」は寄附者が用途を指定されることから、ご意向に沿って関連する事業の財源としている。他の財源とのバランスを考慮し、適切に充当していく。



全国に舞鶴をPRする引揚記念館

Q 「小中一貫教育」の今後の方向性は

A 9年間を見通す一貫性・継続性ある指導



質問 舞鶴市の小中一貫教育では、「義務教育9年間を修了するの」にふさわしい学力の定着、「豊かな人間性や社会性の育成」などを目指している。また、小中一貫教育の進め方としては、「9年間を4・3・2の教育区分として、9年間を見通したカリキュラムを作成し、小中学校が共通の教育目標を設定する」などの目標に取り組んでいる。そこで、小中学校が共通の教育目標を設定するとあるが、「小中一貫教育」の今後の方向性について問う。

かな人間性や社会性の育成」、「小中教職員の協働による9年間を見通した一貫性・継続性のある指導」、この3つの目標に向けてさらに取り組むとともに、「小中一貫教育」と「GIGAスクール構想」の推進により、舞鶴子どもたちに令和の時代を生きていくのにふさわしい力を付けていく。

答弁 今後は、小中一貫教育で目指す教育目標「義務教育9年間を修了するの」にふさわしい学力の定着、「豊かな

今後は、小中一貫教育で目指す教育目標「義務教育9年間を修了するの」にふさわしい学力の定着、「豊かな



子どもたちの学び舎

Q 子育て・親育て支援の取り組みは

A 引き続き家庭の子育て力向上に取り組む



質問 国の保育の規制緩和や無償化などにより、非常勤保育士の割合が本市でも43.8%と増加し、保育標準時間11時間の中、愛着関係形成時期である乳児保育現場の量と質の両方の維持について危惧する。保育所はサービス産業ではない。親と保育士が信頼関係を築くため「一日(8時間)保育士体験」を取り入れては。また、過保護や過干渉、放任など家庭の教育力低下が指摘されている中、各家庭に家庭教育に対する責任の自覚を促す「家庭教育条例」の制定について、市の見解を問う。

センターでは、親育てにつながる取り組みとして、学びの場を提供しており、保護者に参加型の保育体験機会を設け、保育士と保護者の相互理解を深めるとともに、引き続き、家庭の子育て力の向上に取り組む。また、本市は「地域の子どもは地域ではぐくむ」風土が醸成されており、条例の枠組みをつくり、家庭教育の必要性を訴えるまでもないと考える。



大切な乳幼児期保育

令和5年3月10日、13日に本会議を開き、15人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

あらまし
予算の概要
委員会議
討論
採決結果
代表質問
一般質問
議会学習会
定例会の予定
議会PR



国保料の値上げが暮らしの崩壊になるのでは

質問 令和5年度国民健康保険事業会計予算では、医療分・支援分は据え置き、介護分は3%引き上げ(一人当たり年間840円)提案。今後3年間も同様の引き上げ方針。①長引くコロナ禍や物価高で、市民の暮らしが好転したという判断で引き上げるのか。②基金の活用で、保険料の軽減を求めるがどうか。

答弁 ①市民生活への影響は大きいものとして認識している。②基金を取り崩すことで、医療分と支援分を据え置き、介護分は、40歳以上65歳未満の加入者と限定的であることから引き上げ幅を抑えた。

質問 マイナンバーカードに保険証の機能をもった「オンライン資格確認」が4月から始まる。患者負担に格差をつけ、半強制的にカード取得を進めることはやめるべきと考えますが、市の見解を問う。

答弁 市内68・8%の医療機関でマイナンバーカードが利用できる。対面でもオンラインでも安全・確実に本人確認ができるデジタル社会の基盤と考える。

質問 マイナンバーカードに保険証の機能をもった「オンライン資格確認」が4月から始まる。患者負担に格差をつけ、半強制的にカード取得を進めることはやめるべきと考えますが、市の見解を問う。

答弁 市内68・8%の医療機関でマイナンバーカードが利用できる。対面でもオンラインでも安全・確実に本人確認ができるデジタル社会の基盤と考える。

質問 市民にとっての安全・安心な医療を考えると、必要な医師の確保や人的資源の配分など、市が積極的に各公的病院と密に連携しながら進めていく必要がある。地域医療の在り方については、市民の声もしっかり反映させる必要があることから、市民の声を聴くため、市民の声を聴く懇話会、また、医療に関わる人材確保については、市独自の奨学金の創設に係る検討が必要ではないか。救急搬送事業については、どのよう把握されているのか、市の見解を問う。

答弁 必要な医師を確保する取組については、各病院と連携し、的確に対応したい。市民の地域医療に対するニーズについては、今後、懇話会のような対話の場を設けるなど積極的に検討し、本市独自の奨学金制度の創設についても、その必要性も含めて検討していく。本市の令和4年の救急出動件数は4029件、救急搬送人員数は3789人で、いずれも過去最高であった。

質問 市民にとっての安全・安心な医療を考えると、必要な医師の確保や人的資源の配分など、市が積極的に各公的病院と密に連携しながら進めていく必要がある。地域医療の在り方については、市民の声もしっかり反映させる必要があることから、市民の声を聴くため、市民の声を聴く懇話会、また、医療に関わる人材確保については、市独自の奨学金の創設に係る検討が必要ではないか。救急搬送事業については、どのよう把握されているのか、市の見解を問う。

答弁 必要な医師を確保する取組については、各病院と連携し、的確に対応したい。市民の地域医療に対するニーズについては、今後、懇話会のような対話の場を設けるなど積極的に検討し、本市独自の奨学金制度の創設についても、その必要性も含めて検討していく。本市の令和4年の救急出動件数は4029件、救急搬送人員数は3789人で、いずれも過去最高であった。



市民の声を聴く懇話会



質問 国は、「奨学金を活用した若者の地方定着促進要綱」において、地元就職する若者に奨学金の返還助成事業を行う自治体に対し、特別交付税措置をしている。この返還制度を積極的に活用し、進学で舞鶴を離れた学生について卒業後、本市での就職を条件に新たな奨学金返還支援制度を創設してはどうか。

答弁 支援策の一つとして有効であるが、制度化のためには、一定規模の予算を継続的・安定的に確保する必要がある、費用対効果

質問 国は、「奨学金を活用した若者の地方定着促進要綱」において、地元就職する若者に奨学金の返還助成事業を行う自治体に対し、特別交付税措置をしている。この返還制度を積極的に活用し、進学で舞鶴を離れた学生について卒業後、本市での就職を条件に新たな奨学金返還支援制度を創設してはどうか。

答弁 支援策の一つとして有効であるが、制度化のためには、一定規模の予算を継続的・安定的に確保する必要がある、費用対効果

質問 国は、「奨学金を活用した若者の地方定着促進要綱」において、地元就職する若者に奨学金の返還助成事業を行う自治体に対し、特別交付税措置をしている。この返還制度を積極的に活用し、進学で舞鶴を離れた学生について卒業後、本市での就職を条件に新たな奨学金返還支援制度を創設してはどうか。

答弁 支援策の一つとして有効であるが、制度化のためには、一定規模の予算を継続的・安定的に確保する必要がある、費用対効果

一般質問

Q 国保料引き上げでなく負担の軽減策は

A 基金の取り崩しと介護分の引き上げ対応

日本共産党議員団 小杉悦子

一般質問

Q 本市における医療の在り方は

A 懇話会のような対話の場を検討する

市民クラブ舞鶴議員団 廣瀬昇

一般質問

Q 新たな奨学金返還支援制度の創設は

A 費用対効果も加味し、慎重に検討する

公明党議員団 小谷繁雄

一般質問

令和5年3月10日、13日に本会議を開き、15人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



あらまし

予算の概要

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

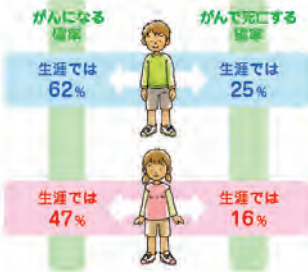
議会学習会

定例会の予定

議会PR

Q 前立腺がん検診への補助で受診率向上を周知啓発を充実させる

A 現在、死因の1位はがんであり、2人に1人はがんに罹患する時代である。その中でも前立腺がんは、男性が最も罹患するがんであり、定期的な検診が重要である。その中で本市は、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診に補助を出しているが、近隣市より高額かつ前立腺がん検診には補助がない。受診率を高め、早期発見により市民の健康を守るためにも補助を拡充し、費用を近隣市並みに抑えることが必要だと考えるが、市の見解を問う。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス
定期的ながん検診で健康寿命を伸ばそう



新政クラブ議員団 野瀬 貴則

Q スポーツ施設の利用状況について問う

A 土日祝日の利用率は高いが平日は低い

質問 野球場や人工芝グラウンドは、少数による部分的な利用は難しく、週末は多くの利用者でにぎわっているが、平日の利用は、空きが多い状況にある。平日と土日祝日の利用状況について問う。

答弁 野球場の利用率は年間22・5%、平日は12・5%、土日祝日は49・8%である。人工芝グラウンドの利用率は年間30%、平日は14・3%、土日祝日は62・4%で、土日祝日は高いが、平日の利用率は低い状況にある。

質問 野球場や人工芝グラウンドの平日利用促進については、スポーツ関係者との意見交換を行うなど、利用者ニーズの把握に努め、指定管理者と連携し、さらなる利用率向上に向けた取り組みについて検討していく。



自民党鶴岡クラブ議員団 水嶋 一明

Q 中高年のひきこもり支援は

A 個別支援ができる環境づくりに努める

質問 地域を回っていると、私の子ども世代のひきこもりの人に会うことがある。何とか手を差し伸べることができないのだろうか。生きづらさと孤立の中で、日々葛藤しておられると思うと非常に辛くなる。生活支援相談センターにおいて寄り添い型支援をされているが、ご家族や地域の支援者などを対象にした支援ツールの作成や、実際にひきこもりから脱却された当事者のお話を聞く機会の場合などを計画されてはどうか。窓口案内アウトリーチ支援など、今後の取り組みや実績を問う。

答弁 家の中から外へ出て、何らかの形で社会とつながりが持てるよう、信頼関係を構築しながら継続支援を行っている。令和5年度からはこのような複雑・複合化した世帯の課題解決に向けて、多機関協働事業による包括的な支援体制の構築に取り組み。引き続き生活支援相談センターが窓口となり、相談者が寄り添った個別支援ができる環境づくりに努める。



会派に所属しない議員 高橋 秀策

質問 伊佐津川運動公園は、指定管理者で

Q 利用率向上の取り組みは

A 利用者ニーズ把握に努める



平日の利用が少ない人工芝グラウンド

生活支援相談センター



生活支援相談センター

令和5年3月10日、13日に本会議を開き、15人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

一般質問

Q 北朝鮮による
拉致事件の本市の認識は

A 重大な人権侵害であると
認識している



新政クラブ議員団
眞下弘明

質問 北朝鮮に拉致された拉致被害者全員
の救出を心から願ひ、
少しでも救出に寄与、
風化を阻止するために
拉致問題を質問する。
特定失踪者問題調査会
のリストにおける一人の舞
鶴市民、舞鶴で消息不
明となられた方お二人
が挙げられている。拉
致事件に対する本市の
認識は。また、これか
らの本市における北朝
鮮人権侵害問題啓発週
間の取り組みと、小中
学校における拉致問題
の教育の現
状について
問う。



内閣官房 拉致問題対策本部
事務局啓発ポスター

答弁 北朝鮮による
拉致は、生
命と安全に
関わる問題
で重大な人
権侵害であると認識し
ており、特定失踪者が
本市にもおられること
は承知している。拉致
問題の関心と認識を深
める啓発を引き続き取
り組む。また、北朝鮮
人権侵害問題啓発週間
では、今後も引き続き
人権週間を中心にさら
なる啓発に取り組んで
いく。小中学校の拉致
問題の啓発については、
国が作成した拉致問題
に関する映像作品等も
活用し、全小中学校に
紹介をしている。

一般質問

Q 安全・安心な
庁舎づくりを問う

A 全庁的な避難訓練は
今後、定期的に



新政クラブ議員団
山本治兵衛

質問 災害があつて
も議会の機能を維持す
るために、防災訓練や
災害対応の取り組みを
市議会は行ってきたが、
議事堂だけの訓練では、
庁舎の避難経路や避難
体制の全体が把握しに
くいため、庁舎全体で
の継続的な訓練が必要
である。また、災害に
より庁舎が機能不全と
なれば、市民の生命と
財産を守り抜く責務を
果たすことができない。
普段からリダンダン
シーの想定は必須
である。そこで、
総合的避難訓練と
業務継続のリダン
ダンシーについて
問う。



議会で実施した避難訓練

答弁 市では平
成30年以降、庁舎
の避難訓練は行っ
ていない。定期的
な訓練は、防災意識を
高めるとともに、訓練
を通して課題等を認識
できるため、今後、定
期的な訓練を再開した
い。また、リダンダン
シーについては、令和
元年に業務継続計画を
策定し、被災した場合
の代替機能を想定して
いる。さらに、住民基
本台帳や財務等のデー
タは、堅牢な国内の
データセンターに保管
しており、業務の継続
性の環境は整えている。

一般質問

Q 公約の市民病院の
「在り方検討」とは

A 地域の医療ニーズを
踏まえ検討する



新政クラブ議員団
田畑篤子

質問 市民病院は療
養病床に特化し、高い
病床利用率で、地域に
不足する慢性医療の確
保に努めてこられた。
急性期からの移行後の
医療として、終末期医
療および見取りなど、
急性期病院のバック
アップ機能を担う一方
で、在宅への懸け橋と
しての機能も担うなど、
非常に重要でかつ必要
な役割を果たしている。
市長は「市民病院の在
り方を検討し、必要
な対策を講じ
る」と掲げておら
れる。具体的に何
をどうされるのか。



舞鶴市立市民病院

答弁 市民病院
は、療養病床に特
化後、急性期を担
う市内公的3病院
と連携し、地域に
不足している慢性
期医療の確保に努める
ことにより、急性期病
院のバックアップ機能
を担う一方で、かかり
つけ医等とも連携をし
て在宅との懸け橋的機
能を担い、在宅医療の
充実を支援してきた。
地域医療全体の現状を
踏まえ、その在り方を
今後検討される中で、
当院の在り方について
は、地域の医療ニーズ
を踏まえ、検討される
ものと認識している。

議会学習会を開催

舞鶴市議会では、議会に対する理解を促進し、より身近に感じていただくことを目的に、小中学校の児童生徒等が議会の機能や役割などについて学ぶ機会を提供しています。

2月7日には岡田小学校と池内小学校、2月8日には中舞鶴小学校の6年生に議場へお越しいただき、議会学習会を開催しました。

議会学習会の内容は、学校側の意向を踏まえて柔軟に対応しますが、今回は、3校とも、実際の本会議の流れに沿ったプログラムで、おおむね次のような内容で実施しました。

日程第1 諸報告

- 議会の仕組みなどについて議長から説明

日程第2 会議録署名議員の指名

- 後日作成する議会学習会の記録に署名する議員（児童）2人を議長が指名

日程第3 会期の決定

- 議会学習時間の時間を簡易採決により議決

日程第4 議長選挙

- 無記名投票により議員（児童）の中から議長を選出
※これ以降は選出された議長（児童）が会議を進行

日程第5 決議第1号

- 議員（児童）が決議の内容を説明し、押しボタン式投票により採決（議決）

日程第6 代表質問

- 議員（児童）が舞鶴市のことについて質問し、市長役の児童、教育長役の児童が答弁

日程第7 第1号議案及び第2号議案

- 市長役の児童が議案の内容を説明し、議員（児童）が、賛成・反対の討論を行ったあと、押しボタン式投票により採決（議決）



代表質問の答弁（岡田小学校）



諸報告（池内小学校）



議員役と執行機関役に分かれて着席（中舞鶴小学校）

6月定例会予定

6月

- 2日（金） 本会議（開会・提案説明）
- 9日（金） 請願受理締切
- 15日（木） 本会議（一般質問）
- 16日（金） 本会議（一般質問）
- 20日（火） 本会議（一般質問、議案質疑）
- 22日（木） 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 23日（金） 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 28日（水） 予算決算委員会



7月

- 3日（月） 本会議（閉会）

※予定は変更することがあります。

本会議や委員会等はどこでも
傍聴することができます。

議会を傍聴
してみませんか

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索

